上毛新聞　2020年　11月　18日（水）

ハルナG

巣ごもり需要で 上半期販売最高

飲料製造などを手掛けるハルナグループ

（高崎市足門町、青木麻生CEO）は17日、2020年度上半期（4～9月）の販売数量が前年同期比3％増の2626万ケース、自社プラントでの生産数量が3％増の1851万ケースで、それぞれ上半期過去最多となったと発表した。

新型コロナウイルス感染拡大を受けた「巣ごもり需要」を取り込み、スーパーマーケットや電子商取引（EC）などで販売が伸長。加えて、効率的な生産計画による工場稼働が奏功した。

県内生産の日本茶をシンガポール、マレーシアで年内発売予定のASEAN商圏や、欧州などでの海外事業は積極姿勢を維持する。

同時に発表した20年9月中間連結決算は、売上高が前年同期比2％減の133億1100万円だった。高利益率の小型容器商品の販売が減少した。